

令和4年度実施 沖縄県公立学校教員候補者選考試験問題

②教養試験 15：00～15：50

一般教養・教職教養

マークシート記入上の注意

- 1 解答は、全てマークシートの問題番号に対応した解答欄に記入しなさい。
- 2 判別できないマークは、誤答となります。
- 3 解答の訂正は消しゴムで消し、くずはマークシートからきれいに取り除くこと。
- 4 受験番号は6桁の数字を記入し、0（ゼロ）を含む6桁全ての数字にマークすること。
- 5 氏名や受験番号を間違えて記入した場合、評価は行いません。
- 6 試験終了後のマークシート記入や確認は一切認められません。

諸注意

- 1 試験中は、ガムや飴等を含め一切の飲食は禁止です。
- 2 試験開始後は試験終了まで退室することはできません。
- 3 試験中トイレに行きたくなったり、気分不良の際は、挙手して申し出てください。
- 4 問題やマークシートで印刷の不明な点がありましたら、挙手して申し出てください。
- 5 試験開始後に受験者本人と写真票の確認をします。

一般教養

1 下の問い合わせに答えよ。

(1) 下線部の言葉の用い方として誤っているものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 1

- ① 友人は、まさに立て板に水というように問題を解いていった。
- ② 現状を等閑視した結果の事故であることを、世間に訴える必要がある。
- ③ 過去の失敗を思い出し、忸怩たる思いを抱いた。
- ④ その出来事によって、彼は矜持をいたく傷つけられた。
- ⑤ 恣意的な判断によって情報を解釈するのはよくないことだ。

(2) 文中に誤字が含まれていないものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

2

- ① 先日、学校で栽培している野菜の収穫を行い、子ども達はみんな笑顔になった。
- ② 粉飾決済の擬義をかけられたあの会社は、捜査の対象となった。
- ③ 作業の進捗に関しては、逐時報告するよう厳命されている。
- ④ 業績が急激に悪化している企業がある中で、わが社は健闘している方だ。
- ⑤ 礼儀を重んじる先生だが、平生は温厚で誰からも慕われている。

2 下の問い合わせに答えよ。

- (1) 次の英文を「軽い副作用が幾分あるかもしれませんね。」という意味の文にするとき、() にあてはまる語として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

3

There may be some minor side ().

- ① causes ② effects ③ efforts ④ influences ⑤ interactions

- (2) 次の英文の対話を読み、下の設問に対する答えとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 4

A: Hello. What can I do for you?

B: Well, I'm looking for some new English literature releases.

A: We just got some last week. Please go straight to the end and turn right.

B: O.K.

A: You'll find the literature section on your left.

B: Thank you.

A: Not at all.

[設問] Where does this conversation probably take place?

- ① At a bookstore
② At a city hall
③ At a coffee shop
④ At a publishing company
⑤ At a stationery shop

3 下の問い合わせに答えよ。

(1) 江戸時代の農村または農業について述べた文として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 5

- ① 分割相続による田畠の細分化を防ぐため、田畠永代売買の禁止令が出された。
- ② 本百姓は田畠・屋敷にかかる助郷役を負担した。
- ③ 干鰯が金肥として普及した。
- ④ 脱穀用の道具として踏車が使用された。
- ⑤ 宮崎安貞が日本における最初の農書として『広益国産考』を著した。

(2) 地形についての記述として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 6

- ① 大規模な噴火で火山噴出物が大量に放出され、空洞化した地下のマグマだまりに落ち込む形で地表が陥没して形成された円形の凹地をカルと呼ぶ。
- ② 日本では、水はけのよい自然堤防に畑・集落・道路がつくられ、後背湿地は水田として利用されてきたが、現在は水害対策や宅地開発が進んで、氾濫原の土地利用が変化した例も見られる。
- ③ ノルウェーやチリ南部では、氷河が発達したV字谷に海水が浸入して、陸地に深く入り込んだエスチュアリーと呼ばれる入江が発達している。
- ④ 乾燥地域では、砂丘が発達する砂漠の面積割合が大きく、岩石砂漠と呼ばれる岩石の露出地は少ない。
- ⑤ 厚い石灰岩層からなる地域では、地表にポリエと呼ばれるくぼみが多数できる特異な地形が生じ、ポリエの結合や拡大が進むと、平らな谷底をもつドリーネが形成される。

(3) 次の文章は、2021年8月に起こった出来事についての内容である。文中の（A）から（C）にあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 7

（A）では、8月15日、（B）が首都カブールを制圧して、ガニ政権が崩壊し、（C）の軍事作戦の開始から約20年をへて、再び権力を掌握した。

- ① A ミャンマー B 国軍 C カンボジア
- ② A アフガニスタン B イスラーム国 C トルコ
- ③ A パキスタン B タリバン C インド
- ④ A パキスタン B イスラーム国 C ソ連
- ⑤ A アフガニスタン B タリバン C アメリカ

(4) 2021年1月に発効を迎えた条約と、その条約採択への貢献などを理由に2017年にノーベル平和賞を受賞した団体の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 8

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| ① 条約 — 核兵器禁止条約 | 団体 — クラスター兵器連合 (CMC) |
| ② 条約 — 核兵器不拡散条約 | 団体 — 核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) |
| ③ 条約 — 核兵器禁止条約 | 団体 — 核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) |
| ④ 条約 — オスロ条約 | 団体 — クラスター兵器連合 (CMC) |
| ⑤ 条約 — オスロ条約 | 団体 — 地雷禁止国際キャンペーン (ICBL) |

(5) 日本の思想についての記述として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 9

- ① 荻生徂徠は、『古事記伝』を著して日本固有の道を説き、道理によって物事を理解する中国風の考え方を「漢意」として批判した。
- ② 新井白石は、徳川家康以後4代の将軍に仕えて、朱子学の官学化に貢献し、つつしみをもって精神を集中させ、理を正しく認識する修養を説いた。
- ③ 親鸞は、悪人正機説を唱え、念佛を唱えること自体が阿弥陀仏のはからいであると考え、すべてを阿弥陀仏にゆだねることを説いた。
- ④ 夏目漱石は、西洋文明を支える精神のあり方に注目し、江戸時代までの封建社会を支えてきた儒教道徳を批判し、天賦人権論にもとづきながら、独立自尊の精神を説いた。
- ⑤ 和辻哲郎は、近代的自我にめざめた人間を描きながら、西洋とは異なる日本の現実にしたがう「かのように」の思想を論じた。

(6) 2020年9月、琉球国の歴史を記した正史『中山世鑑』などが国の重要文化財に指定された。この史書は、1650年に尚質王の命によりまとめあげられた琉球最初の史書である。この史書を編纂し、後に琉球国の摂政にも就任した人物として正しいものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 10

- ① 蔡温
- ② 牧志朝忠
- ③ 儀間真常
- ④ 野国総管
- ⑤ 羽地朝秀

4 下の問い合わせに答えよ。

(1) 7.5×10^2 kHzのラジオの電波の波長はいくらか。最も適当なものを、次の①から⑥までの中から一つ選び、記号で答えよ。ただし光の速さは 3.0×10^8 m/sとする。 11

- ① 2.5×10^{-6} m ② 2.5×10^{-3} m ③ 4.0×10^2 m ④ 4.0×10^5 m
⑤ 2.3×10^{11} m ⑥ 2.3×10^{14} m

(2) セラミックスに関する記述として適当でないものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 12

- ① 金属以外の無機物質を高温で焼き固めて作られた固体材料である。
② 硬い、さびない、燃えないという特徴を持ち、生活に広く利用されている。
③ 粘土や陶土などの材料を高温で焼き固めた陶磁器は身近なセラミックスの一つである。
④ 水、薬品に強く、透明であるという特徴を持つガラスはセラミックスではない。
⑤ 生体毒性がなく、耐食性、耐摩耗性に優れたセラミックスが人工骨、人工歯根等に使われている。

(3) 細胞分裂の観察のときよく用いられる試薬として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 13

- ① エオシン液 ② 可溶性デンプン溶液 ③ ヨウ素ヨウ化カリウム液
④ 酢酸オルセイン液 ⑤ スダンⅢ

(4) 陸地は暖まりやすく、冷めやすい。一方、海洋は暖まりにくく、冷めにくい。そのため、陸地と海洋との温度差により気圧差が生じ、海陸風が吹く。次の記述として正しいものを、次の①から④までの中から一つ選び、記号で答えよ。 14

- ① 晴れた日の昼は陸地よりも海洋の方が高圧になり、海岸付近では陸風が吹く。
② 晴れた日の昼は陸地よりも海洋の方が高圧になり、海岸付近では海風が吹く。
③ 晴れた日の夜は陸地よりも海洋の方が高圧になり、海岸付近では陸風が吹く。
④ 晴れた日の夜は陸地よりも海洋の方が高圧になり、海岸付近では海風が吹く。

(5) 3人でじゃんけんを3回する。1回目、2回目があいこで、3回目に初めて勝者が一人決まる確率を、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 15

- ① $\frac{1}{27}$ ② $\frac{2}{27}$ ③ $\frac{1}{9}$ ④ $\frac{4}{27}$ ⑤ $\frac{5}{27}$

教職教養

1 次の文章は、日本国憲法、教育基本法の一部である。文中の [16] ~ [18] にあてはまる語を、次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

日本国憲法

第二十六条 2項 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に [16] を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

教育基本法

第四条 2項 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な [17] を講じなければならない。

第九条 法律に定める学校の教員は、自己の [18] 使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

[16] ① 基礎的な教育 ② 学校教育 ③ 教育 ④ 社会教育 ⑤ 普通教育

[17] ① 援助 ② 教育 ③ 措置 ④ 支援 ⑤ 配慮

[18] ① 重要な ② 特別の ③ 指導上の ④ 崇高な ⑤ 社会的な

2 次の文章は、学校教育法施行規則、学校保健安全法の一部である。文中の [19] ~ [20] にあてはまる語を、次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

学校教育法施行規則

第五十二条 小学校の教育課程については、この節に定めるもののほか、教育課程の [19] として文部科学大臣が別に公示する小学校学習指導要領によるものとする。

学校保健安全法

第二十七条 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について [20] を策定し、これを実施しなければならない。

[19] ① 手引き ② 基準 ③ 目安 ④ 到達目標 ⑤ 参考

[20] ① 方針 ② 指針 ③ 対処要領 ④ 計画 ⑤ 目標

3 次の文章は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月）第3章 教育課程の編成及び実施 第3節 教育課程の実施と学習評価 2 学習評価の充実 の一部である。文中の 21 ~ 24 にあてはまる語を、次の①から⑤の中から一つずつ選び、記号で答えよ。

学習評価は、学校における教育活動に関し、生徒の学習状況を評価するものである。「生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、学習評価の在り方は重要であり、教育課程や 21 の改善と一貫性のある取組を進めることが求められる。

評価に当たっては、いわゆる評価のための評価に終わることなく、教師が生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにすることで、自分自身の目標や課題をもって学習を進めていくように、評価を行うことが大切である。

実際の評価においては、各教科等の目標の実現に向けた学習の状況を把握するために、指導内容や生徒の特性に応じて、単元や題材など内容や時間のまとめを見通しながら評価の場面や方法を工夫し、学習の過程の適切な場面で評価を行う必要がある。その際には、学習の成果だけでなく、学習の過程を一層重視することが大切である。特に、他者との比較ではなく生徒一人一人のもつよい点や可能性などの多様な側面、進歩の様子などを把握し、学年や学期にわたって生徒がどれだけ成長したかという視点を大切にすることも重要である。

また、教師による評価とともに、生徒による学習活動としての相互評価や 22 などを工夫することも大切である。相互評価や 22 は、生徒自身の学習意欲の向上にもつながることから重視する必要がある。

今回の改訂では、各教科等の目標を資質・能力の三つの柱で再整理しており、平成28年12月の中央教育審議会答申において、目標に準拠した評価を推進するため、観点別評価について、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「 23 に学習に取り組む態度」の3観点に整理することが提言されている。

その際、ここでいう「知識」には、個別の事実的な知識のみではなく、それらが相互に関連付けられ、さらに社会の中で生きて働く知識となるものが含まれている点に留意が必要である。

また、資質・能力の三つの柱の一つである「学びに向かう力、人間性等」には①「 23 に学習に取り組む態度」として観点別評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と、②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価（個人のよい点や可能性、進歩の状況について評価する）を通じて見取る部分があることにも留意する必要がある。

このような資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、指導と評価の 24 を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動を評価の対象とし、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要である。

21 ① 学級経営 ② 授業 ③ 学習・指導方法 ④ 教育方法 ⑤ 進路指導

22 ① 自己評価 ② 診断的評価 ③ 形成的評価
④ 学習状況評価 ⑤ 集団準拠評価

23 ① 自発的 ② 自立的 ③ 能動的 ④ 主体的 ⑤ 意欲的

24 ① 総合化 ② 一体化 ③ 統一 ④ 融合 ⑤ 調和

- 4 次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編（平成30年7月）第3章 教育課程の編成 第2節 教育課程の編成 4 学校段階等間の接続 の一部である。文中の 25 にあてはまる語を、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

中学校においては、義務教育を行う最後の教育機関として、教育基本法第5条第2項が規定する「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎」及び「国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質」を卒業までに育むことができるよう、小学校教育の基礎の上に、中学校教育を通して身に付けるべき資質・能力を明確化し、その育成を高等学校教育等のその後の学びに円滑に接続させていくことが求められている。

このため、今回の改訂では、平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえて平成29年に改訂された中学校学習指導要領との接続を含め、 25 を見通した改善・充実の中で、高等学校教育の充実を図っていくことが重要となる。

- 25 ① 義務教育過程 ② 小中一貫教育 ③ 中高一貫教育
④ 小・中学校 ⑤ 小・中・高等学校

- 5 次の文章は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編（平成30年7月）第6章 生徒の発達の支援 第1節 生徒の発達を支える指導の充実 2 生徒指導の充実（第1章総則第5款1(2)）の一部である。文中の 26 にあてはまる語を、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

また、学校教育は、集団での活動や生活を基本とするものであり、 26 や学校での生徒相互の人間関係の在り方は、生徒の健全な成長と深く関わっている。生徒一人一人が自己の存在感を実感しながら、共感的な人間関係を育み、自己決定の場を豊かにもち、自己実現を図っていける望ましい集団の実現は極めて重要である。すなわち、自他の個性を尊重し、互いの身になって考え、相手のよさを見付けようと努める集団、互いに協力し合い、主体的によりよい人間関係を形成していくとする集団、言い換えれば、好ましい人間関係を基礎に豊かな集団生活が営まれる 26 や学校の教育的環境を形成することは、生徒指導の充実の基盤であり、かつ生徒指導の重要な目標の一つでもある。単位制による課程をはじめとして、教育課程における選択の幅の大きい高等学校にあっては、日常の授業の集団と 26 集団とが一致しない場合も多いだけに、このことはとりわけ重要である。

- 26 ① グループ ② 学級 ③ ホームルーム ④ クラスマート ⑤ 生徒会

6 次の文章は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、および、発達障害者支援法の一部である。文中の 27 ~ 28 にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

第四条 27 は、第一条に規定する社会を実現する上で障害を理由とする差別の解消が重要であることに鑑み、障害を理由とする差別の解消の推進に寄与するよう努めなければならない。

発達障害者支援法

第二条の二 発達障害者の支援は、全ての発達障害者が社会参加の機会が確保されること及びどこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と 28 することを妨げられないことを旨として、行われなければならない。

27 ① 教育委員会 ② 国民 ③ 国 ④ 地方公共団体 ⑤ 学校

28 ① 活動 ② 行動 ③ 交流 ④ 共生 ⑤ 居住

7 次の文章は、小学校等における医療的ケア実施支援資料～医療的ケア児を安心・安全に受け入れるために～（令和3年6月文部科学省初等中等教育局特別支援教育課）第2編 第1章 3 教職員の役割 の一部である。文中の 29 ~ 31 にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

小学校等において看護師等が医療的ケアを行うに当たって、教職員は、医療的ケアを小学校等において行う 29 や必要な衛生環境などについて理解するとともに、学級担任をはじめ教職員により行われる日常的な子供の健康状態の把握を通じて、看護師等と必要な 30 を行い、緊急時にはあらかじめ定められた役割分担に基づき対応することが、特に重要である。

また、教職員が、看護師等の管理下において、医療的ケア以外の 31 、例えば、医療機械・器具の装着時に衣服の着脱を手伝ったり、医療的ケアを受けやすい姿勢保持等の補助を行ったりすることは可能であり、教職員と看護師等とが連携して医療的ケア児の 31 に当たることが重要である。

29 ① 必要性 ② 重要性 ③ 教育的意義 ④ 目的 ⑤ 手順

30 ① 打ち合わせ ② 計画立案 ③ 協力態勢 ④ 共同作業 ⑤ 情報共有

31 ① 保護 ② 支援 ③ 教育 ④ 指導 ⑤ 療育

- 8 次の文章は、令和4年度版「問い合わせ」が生まれる授業サポートガイド（令和4年3月沖縄県教育委員会）の一部である。文中の [32] ~ [34] にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

新たな時代への対応

沖縄県は沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡのなかで、「[32]と関わりながら課題解決に向かい『問い合わせ』が生まれる授業』をめざす授業像として示しています。新たな時代へ対応する視点をもった授業改善を推進していく必要があると考えたからです。

なぜ「問い合わせ」なのか

なぜ「問い合わせ」が生まれる授業」としたのでしょうか。子供たちが [33] を発揮している授業では共通して、子供たちが追求したいと思う「問い合わせ」が生まれています。「問い合わせ」をもつということは、授業で学ぶ内容について、子供たちが与えられた情報を単に受け入れるだけでなく、それをもとに、論理的、客観的で合理的な思考を展開させるということだと捉えており、価値観が多様化し、正解や不正解が明快に導き出せない社会では、必要な力であると考えています。

「問い合わせ」が生まれる場面

では、どんな場面で「問い合わせ」は生まれるのでしょうか。悩んでいる教員も少なくないようですが、難しく考える必要はないと考えています。授業のさまざまな場面で「問い合わせ」は生まれます。特に授業終末の「振り返り」は、「問い合わせ」を引き出すのに有効な場面だと考えます。授業で学習したことを振り返り、次の学習について見通しを持つことで、新たな「問い合わせ」が生まれやすくなります。

子供たちが [34] をする場面でも「問い合わせ」は生まれます。友達の考え方や作者の主張に対して、あるいは仲間が作成した作品などに対して、「私ならこうする」「なぜこうしなかったのだろう」「なぜそうしたのだろう」といった意見や疑問は「問い合わせ」そのものでしょう。

根拠を考えることや比較することも「問い合わせ」につながります。根拠を考えることは、「どうして～といえるのか？」と「問い合わせ」を発することになります。また、比較の視点を持つことで、「○は△△なのに、□□はどうして☆☆になるの？」という「問い合わせ」が生まれやすくなります。

[32] ① 問題 ② 社会 ③ 地域 ④ 生活 ⑤ 他者

[33] ① 自主性 ② 好奇心 ③ 自立性 ④ 意欲 ⑤ 主体性

[34] ① 家庭学習 ② 相互評価 ③ 自学自習 ④ 自己評価 ⑤ 試行錯誤

- 9 次の文章は、沖縄県教育振興基本計画～沖縄の未来を拓く人づくり～【後期改訂版】（平成29年沖縄県教育委員会）の一部である。文中の [35]～[36] にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

6 教育の目標（平成24年）

県は、個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力と [35] をもつ幼児児童生徒を育成する。

平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・[36] 社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。

学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

幅広い教養と専門的能力を培うとともに、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材を育成する。

[35] ① 柔軟性 ② ねばり強さ ③ 社会性 ④ 主体性 ⑤ コミュニケーション力

[36] ① 地域 ② 共生 ③ 情報 ④ 競争 ⑤ 少子高齢化

10 次の各文の [37] ~ [41] にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

(1) 中学生、特に女子に顕著にみられる同性及び同質性で結び付いた排他的な関係のことを [37] という。

- [37] ① フォーマル・グループ ② ピア・グループ ③ Tグループ
 ④ ギヤング・グループ ⑤ チャム・グループ

(2) エリクソンは児童期の発達課題として、[38] を取り上げた。

- [38] ① 自律性 対 恥・疑惑 ② 積極性 対 罪悪感 ③ 勉強性 対 劣等感
 ④ 親密性 対 孤立 ⑤ 同一性 対 役割拡散

(3) 20世紀のアメリカの認知心理学者 [39] は、ウツ・ホール会議の報告書の『教育の過程』をまとめ、学問中心教育課程を提案した。彼は、教育の現代化運動を進め、学問の構造を反映する形で教育課程を構成するよう主張した。授業とは、学問の構造を発見的探究的に学習させることであり、教育内容としての構造に対応する授業方策が発見学習と探究学習であるとした。

- [39] ① モリソン ② スキナー ③ ブルーム ④ キルバトリック
 ⑤ ブルナー

(4) 初代文部大臣として日本の近代教育制度の基礎をつくった [40] は、イギリス留学を経て、明治維新後、新政府の官僚となった。アメリカの教育制度を視察して帰国後、福沢諭吉らと明六社を結成して国民啓蒙の担い手として活躍した。文部大臣就任後、学校制度の全面改正を行い、大学令や小学校令などの学校令を公布した。特に師範教育の大幅な改善を図った。

- [40] ① 森有礼 ② 林羅山 ③ 井上毅 ④ 伊沢修二 ⑤ 田中不二麿

(5) 大正時代に千葉師範学校附属小学校主事になった [41] は、1921年、東京で開催された教育学研究大会において、後に「八大教育主張」とよばれる自由教育論を主張した。彼は、教育とは人を援助して、その自由を実現させる作用であると述べ、「自己が自己を教育する立場に児童を立たせるところの自己教育又は自教育」こそが自由教育であるとした。後に私立自由ヶ丘学園を創設した。

- [41] ① 及川平治 ② 小原国芳 ③ 手塚岸衛 ④ 樋口勘次郎 ⑤ 小砂丘忠義

11 次の文章は、生徒指導提要（平成22年3月文部科学省）の不登校に対する基本的な考え方の一部である。文中の 42 ～ 43 にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

① 不登校解決の最終目標は社会的 42

不登校の解決に当たっては、「心の問題」としてのみとらえるのではなく、広く「進路の問題」としてとらえることが大切です。ここでいう「進路の問題」というのは、狭義の進路選択という意味ではなく、不登校の児童生徒が一人一人の個性を生かし社会へと参加しつつ充実した人生を過ごしていくための道筋を築いていく活動への援助をいいます。つまり「進路の問題」とは、「社会的 42」に向けて自らの進路を主体的に形成していくための生き方支援」と言い換えることもできるでしょう。

他方、具体的な進路指導においては、不登校児童生徒が自らの進路を主体的にとらえるために、多様な中学・高等学校教育制度の情報を提供することも重要になっています。それと同時に、増加しつつある 43 に対しても、新たな進路を開拓するために多角的な視野からの援助や指導が必要とされます。このように学校には、社会に児童生徒を送り出していく準備をする機関としてのより広い役割が求められているといえます。

42 ① 成長 ② 自律 ③ 自立 ④ 自活 ⑤ 独立

43 ① 無職少年 ② 転学者 ③ 退学処分者 ④ 中途退学者 ⑤ 長期欠席者

12 次の文章は、いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）の一部である。文中の 44 ～ 45 にあてはまる語を、それぞれ次の①から⑤までの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

第三条 いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、44 いじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

第八条 学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び 45 に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

44 ① 学校内で ② 学校外でも ③ 学校の内外を問わず
④ 教室の内外を問わず ⑤ 地域でも

45 ① 早期発見 ② 早期解決 ③ 解決
④ 克服 ⑤ 根絶

